

歴史総合，日本史探究

(解答番号 ～)

第1問 歴史総合の導入の授業で，日常生活における時間概念について班ごとに資料を収集した。これらの活動に関連した次の文章A～Cを読み，後の問い(問1～8)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点 25)

A 佐藤さんの班は，労働時間の歴史的な変化に関する資料を図書館で収集した。

問1 佐藤さんは，19世紀のイギリスやフランスの労働時間について，メモ1にまとめた。メモ1から読み取れる事柄や，その背景にある産業革命に関して述べた文あ～えについて，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

メモ1

工場主は，工場で働く人に，労働時間を守り，一定期間内に仕事を終わらせるように圧力をかけた。一方，工場で働く人の中には，「聖月曜日」と呼ばれる習慣により，日曜日に深酒をして月曜日の始業時間を守らず，欠勤する者もいた。その態度は，仕事の手順や労働時間は自分で決めるという自律心の表れであった。

あ 「聖月曜日」の習慣を持つ労働者の時間意識と労働慣行は，資本家の求める労働への姿勢に合致するものであった。

い 「聖月曜日」の習慣を持つ労働者の時間意識と労働慣行は，資本家が決めたものとは異なるものであった。

う 産業革命の結果，工場からの排煙や排水による環境汚染が問題となった。

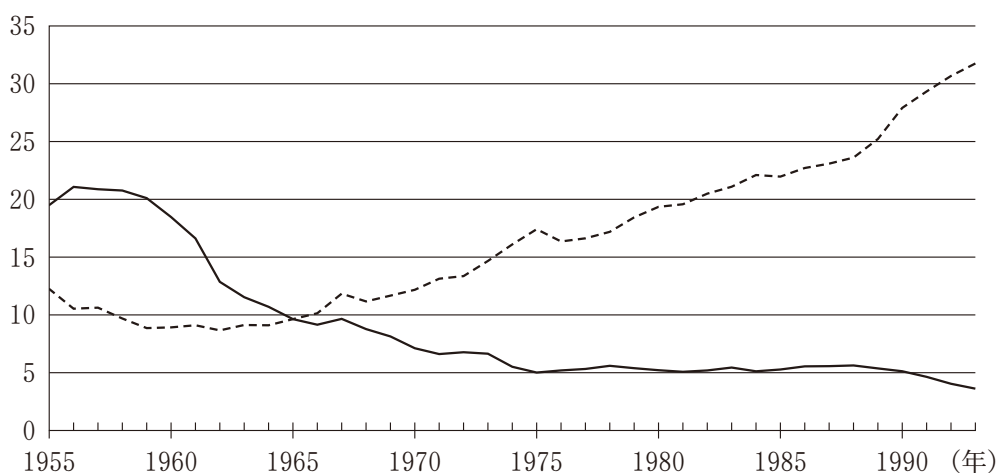
え イギリスの産業革命は，重化学工業から始まり，綿織物業に波及した。

① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

問 2 同じ班の李さんは，第二次世界大戦後の日本における労働時間の変化に着目して，1955 年以降の女性雇用者（雇用されている女性労働者）に関する **グラフ** を作成した。**グラフ** から読み取れる事柄について述べた文 **あ・い** の正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 2

グラフ 日本の女性雇用者数に占める長時間及び短時間雇用者数の割合の推移

（単位：％）



—— (a)女性雇用者数に占める長時間(週 60 時間以上)雇用者数の割合

----- (b)女性雇用者数に占める短時間(週 35 時間未満)雇用者数の割合

（森岡孝二『企業中心社会の時間構造』より作成）

あ 高度経済成長期に(a)と(b)が逆転した。

い バブル景気が始まった頃には，既に全女性雇用者の 3 人に 1 人が短時間雇用者であった。

① **あ**—正 **い**—正

② **あ**—正 **い**—誤

③ **あ**—誤 **い**—正

④ **あ**—誤 **い**—誤

歴史総合，日本史探究

B 田中さんの班は，暦と標準時に着目し，東アジアにおける時間の基準の統一について考察した。そこで，明治政府が太陽暦を導入する理由を説明した資料を見つけ，関連する出来事を年表にまとめた。

資 料

近年，国家の様々な法令を一新し，旧来の習慣を改めて，国民を文明の域に進ませようとしてきた。暦法のようなものは，最も改正すべきものである。

各国との交際を開始してから，それらの制度や文物で，我が国の統治に利用できるものは採用してきた。太陽暦を各国が普通に使用しているのに，日本のみが太陰暦を用いているのは不便ではないだろうか。

（「太陰暦ヲ廃シ太陽暦ヲ行フ附詔書」）

年 表

1873 年 日本で，グレゴリオ暦（太陽暦）に切り替えられた。

1886 年 日本で，東経 135 度が，標準時子午線として設定された。

1895 年 ㉔ 日本で，新たに獲得した領域を通る標準時子午線が追加された。

1896 年 朝鮮で，グレゴリオ暦に切り替えられた。

1912 年 中国で，グレゴリオ暦に切り替えられた。

1937 年 ㉕ 日本で，標準時子午線が東経 135 度に統一された。

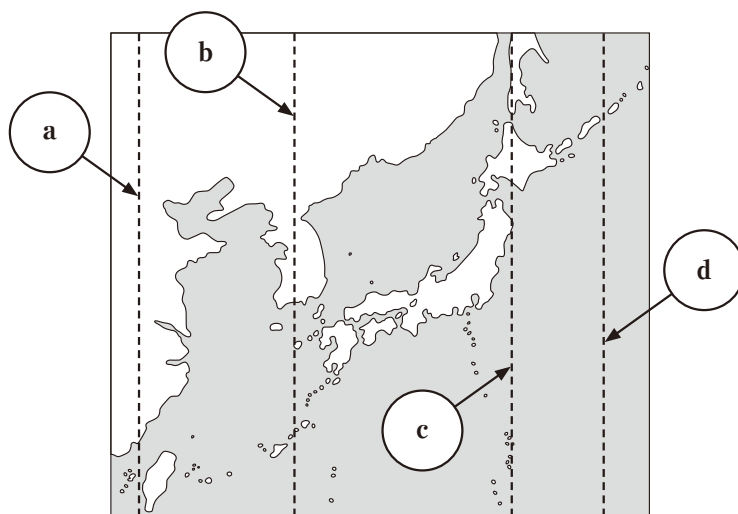
問 3 資料と年表を参考にしつつ，日本での太陽暦の導入についての理由や背景について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

3

- ① 日本は，尊王攘夷の立場から，太陽暦を導入した。
- ② 日本は，自由民権運動の結果として，太陽暦を導入した。
- ③ 日本は，太陽暦を導入し，暦法を西洋諸国に合わせた。
- ④ 日本は，太陽暦を導入し，暦法を中国・朝鮮に合わせた。

問 4 下線部②について，標準時子午線が追加された背景には，日本の帝国主義的な領土の拡大があった。次の図中に示した a ～ d のうち，このとき追加された標準時子午線として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

4



- ① a
- ② b
- ③ c
- ④ d

歴史総合，日本史探究

- 問 5 下線部①について，その理由を説明する資料を探したところ，その資料は国防上の必要性に言及していた。しかし，それ以上の説明がなかったので，当時の対外的危機意識についてメモ2にまとめた。メモ2中の空欄 ・ に入る文の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

メモ2

1930年代には， ，軍備拡張競争が始まる可能性があったため，日本の対外的な危機意識は高まった。また，満洲国と隣接するソ連が，二度にわたる五か年計画を進めていたので， ，東アジアで軍備を増強すると考えられた。こうした対外的な危機意識から，日本は軍隊での命令伝達を容易にするため，標準時を統一したのではないかと考えられる。

- ① アーブレスト＝リトフスク条約が成立し
イーレーニンによる独裁体制を確立し
- ② アーブレスト＝リトフスク条約が成立し
イー重工業化によって国力を強化し
- ③ アーワシントン海軍軍縮(軍備制限)条約が失効し
イーレーニンによる独裁体制を確立し
- ④ アーワシントン海軍軍縮(軍備制限)条約が失効し
イー重工業化によって国力を強化し

- C 野口さんの班は，記念日と政治の関係に着目して，第二次世界大戦に関わる記念日に関する資料を収集した。

問 6 野口さんは，イギリスにおける対日戦勝記念日について図書館で調べて，パネルを作成した。パネルから読み取れる事柄や，その歴史的背景として考えられる事柄について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

6

パネル

イギリスでは，1945 年 8 月 15 日に，イギリス国王がラジオ演説を行い，イギリス帝国及びイギリス連邦の全ての市民に対して，日本に対する勝利を祝うメッセージを送ったことから，8 月 15 日が対日戦勝記念日とされた。この日は，当初はあまり注目されなかったが，1970 年代以降，日本軍に虐待された元捕虜が補償を求めて声を上げたことで，再び注目を集めることになった。

戦争中に日本が占領した香港では，イギリスによる植民地統治が復活した。このことに伴い，1945 年 8 月 30 日にイギリス軍が香港に再上陸したことを記念して，8 月 30 日(後に 8 月の最終月曜日)が，解放記念日とされた。

- ① イギリス国王のラジオ演説は，カナダやオーストラリアでも放送されたと考えられる。
- ② 第二次世界大戦の敗戦の結果，日本はイギリスに巨額の賠償金を支払った。
- ③ 香港における解放記念日は，イギリスの対日戦勝記念日と同じ日に設定されたと考えられる。
- ④ イギリス軍が香港に再上陸した時，袁世凱が中華民国を率いていた。

歴史総合，日本史探究

問 7 同じ班の佐野さんは，対日戦勝記念日が第二次世界大戦の連合国の間で異なっていることに気づき，表にまとめた。その後，先生から朝鮮語で書かれた新聞記事(1947年9月4日付)を紹介され，その内容についてメモ3を作成した。表を参考にしつつ，メモ3から考えられる事柄として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

7

表 連合国の対日戦勝記念日

アメリカ合衆国	ソ 連
9月2日	9月3日

メモ3

- ・見出しには「世界平和と安全の道を開いた9月3日の対日戦勝記念日」とあり，この新聞が発行された地域では，当時この日が祝われていた。
- ・記事本文によると，この日は，連合国の一国が日本に対して，永久的勝利を収めた記念日である，という。

- ① この新聞が発行された地域では，アメリカ合衆国の対日戦勝記念日が祝われていた。ここからこの新聞は，朝鮮半島南部で発行されたことが分かる。
- ② この新聞が発行された地域では，アメリカ合衆国の対日戦勝記念日が祝われていた。ここからこの新聞は，朝鮮半島北部で発行されたことが分かる。
- ③ この新聞が発行された地域では，ソ連の対日戦勝記念日が祝われていた。ここからこの新聞は，朝鮮半島南部で発行されたことが分かる。
- ④ この新聞が発行された地域では，ソ連の対日戦勝記念日が祝われていた。ここからこの新聞は，朝鮮半島北部で発行されたことが分かる。

- 問 8 同じ班のスミスさんは、沖縄県では、6月23日が「慰霊の日」という記念日とされていることに関心を持ち、それに関連する事柄について調べて、ノートにまとめた。ノート1・2に関して述べた文あ～えについて、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 8

ノート1

「慰霊の日」は、沖縄戦における日本軍の組織的な戦闘が終了したとされる1945年6月23日に由来する。「慰霊の日」に関する法令は、最初、1961年に琉球政府によって(当初は6月22日)、その後、1974年に沖縄県によって、定められた。

ノート2

沖縄では「慰霊の日」のほかに、法令による定めはないが、4月28日が「屈辱の日」と呼ばれることがある。この日は、サンフランシスコ平和条約が発効した1952年4月28日に由来する。1960年代に、日本復帰を求める人々の運動の中で、日本本土との分断を象徴する日として、「屈辱の日」と呼ばれるようになり、現在も、様々な機会に意識されている。

- あ サンフランシスコ平和条約が発効する以前、沖縄はアメリカ合衆国により占領されていた。
- い 4月28日が「屈辱の日」と呼ばれるようになった時、米軍は、朝鮮戦争を戦っていた。
- う 「慰霊の日」と「屈辱の日」は、同じ条例によって制定された。
- え 「慰霊の日」は、沖縄の日本への復帰以前に、既に制定されていた。

- ① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

第2問 衣服に興味があるレオナさんは，博物館で木綿に関する特別展を見学した。その展示に関する後の問い(問1～5)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点 15)

問1 展示のはじめには，木綿の普及以前の衣服が分かる絵巻物の部分図(図1～3)と解説文1が掲示されていた。図2・3に関して述べた文あ・いについて，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

9

解説文1

図1の少女が着ているのが小袖である。小袖は袖口の形態に基づく呼称であり，袖口を広く仕立てた大袖・広袖に対し，袖口の狭い衣服が小袖と呼ばれた。図2の少年の中にも小袖を着た者が見える。

身分が高い人々は小袖を肌着に用いた。図3のように正装をする場合にも，中に小袖を身に着けた。

図1



図 2

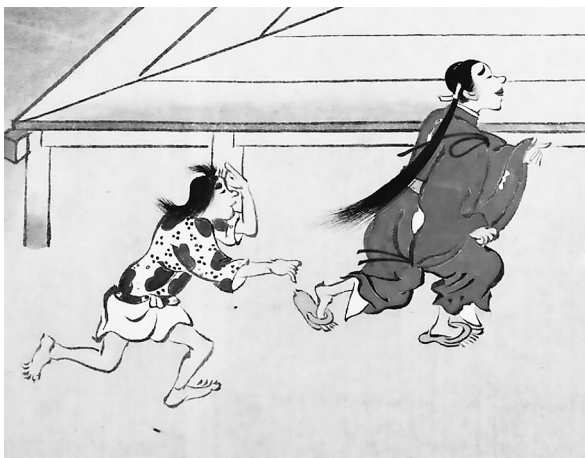


図 3



(図 1 ～ 3 いずれも『春日権現験記』)

あ 図 2 に描かれる二人の少年のうち、小袖を着ているのは、向かって左側の
裸足^{はだし}の人物である。

い 図 3 の人物が身に着けているのは武士独自の正装であり、武家政権が成立
した後に発達した衣服である。

① あー正 いー正

② あー正 いー誤

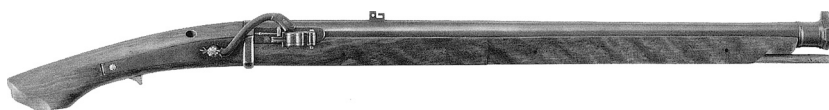
③ あー誤 いー正

④ あー誤 いー誤

歴史総合，日本史探究

問 2 次に注目した展示品は，木綿とは関係なさそうな図 4 であった。図 4 に付された解説文 2 を読み，空欄 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

図 4



解説文 2

室町時代に を通して行われた貿易において，木綿は主な輸入品となっており，戦国時代に入ってから急速に普及した。

図 4 は 16 世紀半ばに がもたらした銃を国産化したものである。木綿は図 4 の火縄に用いられ，兵衣や陣幕にも使われた。このような軍需物資への活用が，木綿の需要が高まった理由の一つである。

- | | |
|--------------|--------------------|
| ① アー 蝦夷地の松前氏 | イー 中国船で漂着したポルトガル人 |
| ② アー 蝦夷地の松前氏 | イー オランダ船で漂着したイギリス人 |
| ③ アー 対馬の宗氏 | イー 中国船で漂着したポルトガル人 |
| ④ アー 対馬の宗氏 | イー オランダ船で漂着したイギリス人 |

- 問 3 レオナさんは，宮崎安貞の『農業全書』と大蔵永常の『綿圃要務』に関する展示解説の内容を，メモにまとめた。メモに関連する事柄として最も適切なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

11

メモ

- ・ 17 世紀末，宮崎安貞は諸国を回り，綿花を含む様々な植物の栽培方法などを，熟練した農業指導者である各地の老農に尋ねた。宮崎はそれらを『農業全書』にまとめ，同書は繰り返し出版された。
- ・ 『農業全書』には古くなった記述もあると考えた大蔵永常は，綿作が盛んな地域を回って種々の情報を老農から得た。その情報をまとめて出版した書物が『綿圃要務』である。
- ・ 『綿圃要務』は河内の百姓が購入したことが分かっている。
- ・ 『綿圃要務』には，大和で始まった綿作が河内・和泉・摂津などで学ばれ，その後，備前・備中や四国に伝わったと書かれている。

- ① 大蔵永常は，動物・植物・鉱物の分類や解説を行った本草学の書物である『農業全書』を意識して，『綿圃要務』を執筆している。
- ② 宮崎安貞の時代には諸国に熟練した農業指導者が存在したが，大蔵永常の時代にはいなくなっていた。
- ③ 綿作などに関する農業知識の普及には，『農業全書』や『綿圃要務』などの書物の出版も寄与した。
- ④ 綿作は『綿圃要務』の出版までに畿内から中国・四国地方に広まり，幕末には綿花が日本の代表的な輸出品となった。

歴史総合，日本史探究

問 4 特別展では，明治政府が農業政策の一環として，外国産の綿花の栽培試験を行ったことが紹介されていた。明治政府の農業政策について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 明治政府は，地租収入を確保するために，商品作物の栽培を禁止した。
- ② 明治政府は，自由民権運動の激化を受けて，地方改良運動を進めた。
- ③ 明治政府は，北海道以外の不在地主に対して，小作地の所有を禁止した。
- ④ 明治政府は，アメリカの農業技術の導入を図って，札幌に農学校を開いた。

問 5 レオナさんは見学の後，「時代の転換とともに衣服はどのように変化したか」という問いを立て，考察した。各時代の特徴について述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 古墳時代の形象埴輪から，当時の衣服の様子を推測できる。
- ② 南北朝時代の武士たちの間に「バサラ」と呼ばれる風潮が広まり，派手な装いを好む者が現れた。
- ③ 戦国時代から江戸時代にかけて木綿の小袖が広まり，民衆の普段着として定着していった。
- ④ 1940年代後半には，アメリカ文化の影響を受けて，若者たちを中心にジーンズが流行した。

第3問 日本史探究の授業で古代日本の特徴について考えることになり，ノゾムさんとミライさんは探究活動を行った。次の文章A・Bを読み，後の問い(問1～5)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点 15)

A ノゾムさんは，中央集権的な国家が出現したことが古代日本の特徴であると考え，それを検証するために中央と地方との関係について調べることにした。

問1 ノゾムさんは，古代の中央と地方とを結ぶ存在として地方の役人に着目し，その変化についてまとめた。古代における地方の役人について述べた文として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① ヤマト政権の支配体制に組み込まれた地域には，中央から国造が派遣され，地方の統治を行った。
- ② 律令制下では，中央から派遣された国司が，地方の豪族の中から任命された郡司を指揮して地方政治を行った。
- ③ 班田や調庸の課税が困難になると，政府は任国に赴任する最上席の国司に権限を集中させて中央への貢納物を確保しようとした。
- ④ 11世紀後半になると，受領が任国に赴かず，それにかわって派遣された目代が在庁官人を指揮して政治を行う事例がみられるようになった。

歴史総合，日本史探究

問 2 ノゾムさんは、仏教に着目して、中央から地方への影響について調べることにした。仏教の地方への広がりについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

15

- ① 百済から仏教が伝わると、各地で仏像の需要が高まり、鞍作鳥によって考案された寄木造の技法を用いた仏像が各地で作られた。
- ② 社会的な不安が高まるなか、仏教の力による国家の安定を願った天皇の命令により、戒壇をもつ寺院として国分寺が国ごとに建立された。
- ③ 都で隆盛した密教が地方に波及して在来の子岳信仰と結びつたことにより、地方の山岳地域には教王護国寺などの寺院が修行の場として建立された。
- ④ 末法思想が広まるなか、都で隆盛した浄土教が地方にも普及し、富貴寺大堂のような阿弥陀堂が建立された。

B ミライさんは，周辺民族との関係のなかに古代国家の特質が表れているのではないかと考え，具体的に中央と東北地方との関係について調べることにした。

問 3 ミライさんは，中央と東北地方との関係を調べるなか，東北地方に関する政策と遷都が密接に関わっているのではないかとの見通しを立てた。そこで遷都を行った二人の天皇に着目して，その天皇が行った遷都と東北地方に関する政策を整理して表にまとめた。空欄 ア ・ イ に入る文W～Zの組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 16

表

遷都	東北地方に関する政策
ア	出羽国を設置した。
平安京に遷都した。	イ

- W 藤原京に遷都した。
X 平城京に遷都した。
Y 日本海側に阿倍比羅夫を派遣した。
Z 財政負担の増大などを理由に，蝦夷との戦争を停止した。

- ① ア－W イ－Y
- ② ア－W イ－Z
- ③ ア－X イ－Y
- ④ ア－X イ－Z

歴史総合，日本史探究

問 4 ミライさんは，9世紀における東北地方と中央政府との関係を調べるため，図書館にある六国史の索引を利用して手がかりを探したところ，資料1を見つけた。資料1に関して述べた文あ・いについて，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

17

資料1

(878年4月4日)この日，出羽の国司の藤原朝臣興世が^{おきよ}①飛^ひ駅^{やく}(注)して次のように報告した。「秋田城の支配下にある役所や民家が凶賊のために焼亡したことを2月に報告しました。その後，小野朝臣春^{はる}泉^{いずみ}・文屋真人^{ふんや}有^{あり}房^{ふさ}らを派遣し，よく訓練された兵を授けて城に入らせ合戦させました。しかし蝦夷の集団は日に日に増え，彼らは多く，我らは少ない状況です。城の北，秋田郡の南の公私の建物はみな焼かれてしまい，殺されたり捕虜にされたりした人は数えられないほどです。」

(『日本三代実録』)

(注) 飛駅：非常時，駅路を用いる最速の連絡方法。

あ 資料1から，9世紀後半になっても中央政府による東北地方の支配は安定せず，日本海側で役所や民家が蝦夷によって焼かれたことが読み取れる。
い 下線部①による使者は，緊急の用件を伝達するため，官道沿いに設けられた駅家で次々に馬を乗り継ぎ，出羽国から都まで至ったと考えられる。

① あー正 いー正

② あー正 いー誤

③ あー誤 いー正

④ あー誤 いー誤

- 問 5 ミライさんは東北地方と中央政府との関係について調べを進めるなか，蝦夷が都に来ていたことを知り，それを示す資料として資料2を見つけた。資料2に関して述べた文あ～えについて，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

18

資料2

715年1月1日，天皇は大極殿に出御して，臣下の拝礼を受けた。皇太子は初めて礼服を着用して，拝礼を行った。陸奥・出羽の蝦夷および南島(注)の奄美・夜久・度感・信覚・球美などの人々が来朝して，それぞれ地方の産物を貢^{たてまつ}った。

(『続日本紀』)

(注) 南島：現在の南西諸島に含まれる島々を指す。

- あ 資料2から，元日に臣下が天皇の住居に赴いて拝礼をする儀式が行われていたことが読み取れる。
- い 資料2から，天皇に拝礼を行った人々のなかに皇太子が含まれていたことが読み取れる。
- う 資料2にみえる元日の儀式を通して，律令国家は天皇が蝦夷や南島の人々をも従える存在であることを示そうとした。
- え 資料2にみえる蝦夷や南島の人々がもたらした地方の産物は，戸籍・計帳を基に課されたものである。

- ① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

歴史総合，日本史探究

第4問 日本史探究の授業で，セナさんのグループは「中世における仏教と国家・社会との関係」を主題として，資料を基に探究することになった。次の文章A・Bを読み，後の問い(問1～5)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点 15)

A セナさんたちは，授業での発表に向けて，資料1・2を準備し，話し合った。

資料1 1183年の藤原(九条)兼実の祈願文

金銅盧遮那^{るしやなぶつ}仏に^{ぶつしやり}仏舎利(注)を奉納する。

この大仏は，もとは聖武天皇が発願して，鑄造されたものである。その時のご命令には，「私が建立したこの寺が興隆すれば天下も興隆し，衰退すれば天下も衰退するであろう」とある。(中略)①^{ほつがん}仏法が破滅の時を迎え，もとの大仏は焼失してしまった。この時，あちらこちらで反乱が発生し，天下が鎮まらなくなった。世の中が治まるのも乱れるのも，この寺の興廃にかかっているということであろう。

(「尊経閣文庫所蔵文書」)

(注) 仏舎利：釈迦の骨や歯と信じられていたもの。信仰の対象として尊重された。

資料2 1237年の朝廷の命令

延暦寺の僧侶である定兼^{じょうけん}らの身柄を捕らえて差し出せ。

山門の衆徒らは，この一，二年来，洛中で神輿^{さんじょう}を振るったり，山上で仏閣を閉ざしたりしている。非常に乱暴な行為であり，類をみない凶悪な行為である。(中略)天皇のご命令によると，諸寺に命じて，その身柄を捕らえて差し出させよ，とのことである。

(『寺家雑筆至要抄』)

- セ ナ：藤原(九条)兼実は後に摂政・関白になった人物なんだけど，資料1は，戦火を受けた⑮この寺の復興が進むなかで，新しく鑄造された大仏に仏舍利を奉納することの趣旨を述べたものだよ。
- ユ ウ：資料2は，朝廷が京都の醍醐寺に下した命令だね。『百練抄』という歴史書によると，同じような命令が五畿七道諸国の国司と「民部卿藤原朝臣」にも下されたんだって。
- セ ナ：「民部卿藤原朝臣」は兼実の曾孫にあたる藤原頼経のことだね。「山上で仏閣を閉ざす」というのはどういうことかな？
- ユ ウ：「山上」は延暦寺のある比叡山の上ということだよ。
- セ ナ：そうすると，㉞延暦寺が「仏閣を閉ざす」ことにどんな意味があるんだろう？
- ユ ウ：「洛中で神輿を振るう」と併記されている点に着目して考える必要がありそうだね。

問1 次の文X～Zは，中世の戦乱を古いものから年代順に示している。資料1の下線部㉞の戦乱の時期として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

19

- X 天皇家や摂関家の抗争に武士が動員され，敗れた側の上皇が流された。
- Y 鎌倉から武家の軍勢が京都に攻めのぼり，敗れた上皇が流された。
- Z 天皇家の分裂と武士団の分裂が連鎖し，全国的な戦乱が約60年も続いた。

- ① Xより前 ② XとYの間 ③ YとZの間 ④ Zより後

歴史総合，日本史探究

問 2 下線部①の成果として，再建された建物あ・いと，制作された仏像X・Yと
について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

20

再建された建物

あ



い



制作された仏像

X



Y



① あ—X

③ い—X

② あ—Y

④ い—Y

問 3 下線部㉔に関して，延暦寺が「仏閣を閉ざす」ことの意味を考察した文あと，朝廷の対応を考察した文いについて，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

21

あ 仏に祈りを捧げる法会ささの開催を拒否することで，朝廷に圧力をかけた。

い 諸寺や諸国の武力によって対応し，幕府に命令は下さなかった。

① あー正 いー正

② あー正 いー誤

③ あー誤 いー正

④ あー誤 いー誤

B セナさんたちは，さらに資料 3 を準備し，話し合った。

資料 3 1536 年の延暦寺の集会に関する資料

近来，或いは弥陀ちかごろ ある一向の衆，或いは法華ともがら一向の輩，僧俗一致して，国を濫みだし，人を悩ます。殊に今般の日蓮党類の働き，悪逆なること頗る前徒を超すこぶゆ(注 1)。(中略)仍よつて刑罰(注 2)を加えんが為，頻しきりに発向(注 3)を企つる所なり。

(「田中穰氏旧蔵典籍古文書」)

(注 1) 悪逆なること頗る前徒を超ゆ：従来の徒党と比べて非常に悪逆である。

(注 2) 刑罰：ここでは，延暦寺の主導による武力制裁を指す。

(注 3) 発向：出動すること。

ユ ウ：「弥陀一向の衆」と「法華一向の輩」と呼ばれる人々が議論の中心になっているみたいだけど，「一向」というのはどういう意味なの？

セ ナ：国語辞典には，「ひたすら」「一途に」といった意味が載っているね。「弥陀」は阿弥陀如来，「法華」は法華経を省略した表現だよ。

ユ ウ：仏教の中には様々な宗派があって，どれか一つの宗派の教えを強く信じる人々もいたってことだね。

歴史総合，日本史探究

問 4 資料3に関して考察した文あ～えについて，正しいものの組合せを，後の

①～④のうちから一つ選べ。 22

あ 「弥陀一向の衆」への武力制裁について議論したものである。

い 「法華一向の輩」への武力制裁について議論したものである。

う 「僧俗」の「俗」は，「弥陀」や「法華」を信仰する貴族を指す。

え 「僧俗」の「俗」は，「弥陀」や「法華」を信仰する民衆を指す。

① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

問 5 セナさんたちは，主題をさらに深く理解するために，前後の時代を通観しながら考察した。仏教と国家・社会との関係について述べた文として**適当でない**ものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 23

① 古代から続く諸宗派は，朝廷や幕府の保護を受けて，国家の鎮護を祈願した。

② 中世に興隆した諸宗派は，広く社会に向けて布教し，武士や民衆からの信仰を集めた。

③ 中世において新旧の諸宗派は，教義の違いを乗り越えて融合し，朝廷のもとで国家の安寧を祈る体制を築いた。

④ 独自の武力を有した中世の宗派は，近世には武家政権の統制下に置かれた。

第5問 カオルさんは、江戸時代の大名と藩について研究発表することになり、疑問に思ったことをメモ1に書き記した。これを読んで、後の問い(問1～5)に答えよ。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。)(配点 15)

メモ1

- ・ ㉓ 江戸時代の大名とそれ以前の守護や大名とでは、どのような点が異なっていたのだろうか？
- ・ ㉔ 幕府が、大名に対して様々な統制をしていたのはなぜだろうか？
- ・ そのような幕府の統制のもとで、諸藩はある程度独自の政治を行っていたのではないか？
- ・ ㉕ 藩にとって、財政の運営は重要な課題であったのではないか？

問1 下線部㉓に関して、大名や守護について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

24

- ① 室町時代の守護は、原則として自らの領国に居住し、京都には一族の者や有力な家臣を代理として派遣した。
- ② 戦国時代の大名には、家臣団統制や領国支配のための法を制定する者があった。
- ③ 大名の中には、羽柴(豊臣)秀吉により、他の大名との交戦の停止を命じられた者もいた。
- ④ 江戸時代の大名は、領地の石高を基準として、戦時の軍事動員や平時の大河川などの普請を課されていた。

歴史総合，日本史探究

問 2 下線部①に関連して，大名に対する幕府の政策に関して述べた文Ⅰ～Ⅲについて，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。

25

Ⅰ 諸大名は，領地の石高 1 万石あたり 100 石の米を幕府へ上納し，その代わりに，参勤交代の負担が軽減された。

Ⅱ 諸大名は，居城を残し，領内のそれ以外の城を破壊させられた。

Ⅲ 後継ぎのいない大名が死ぬ直前に願い出た養子は認めないとする規定が緩められ，断絶する大名家が少なくなった。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ

② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ

④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

- 問 3 下線部㉔に関する調査の中で，次の資料を発見した。資料から読み取れる事柄に関して述べた文あ～えについて，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

26

資 料

昔ヨリ買売ニテ国用(注1)ヲ足シ，禄食^かニ代フル国アリ。(中略)津和野侯ハ，四万石余ノ禄ナルガ，半紙ヲ造出シテ，是^{これ}ヲ占^{しめ}テ売ル故ニ，十五万石ノ禄ニ比ス(注2)。(中略)薩摩^{もと}ハ本ヨリ大国ナレドモ，琉球ノ貨物ヲ占テ売出ス故ニ，其^{その}富裕^{かいだい}海内(注3)ニ勝^{すぐ}レタリ。中華ノ貨物モ，琉球ニ^{つたわり}伝テ薩摩ニ来リ，薩摩ヨリ此方^{このほう}(注4)ノ諸国ニ流布スルコト多シ。

(注1) 国用：藩の経費。

(注2) 比ス：比肩する。同等である。

(注3) 海内：(日本)国内。

(注4) 此方：日本。

- あ 津和野藩は，特産品の半紙を独占的に販売することで，本来の石高から得られる年貢以外に大きな収入を得ていた。
- い 薩摩藩は，中国の品物を琉球に対して独占的に販売することで，大きな収入を得ていた。
- う 藩が商業活動で利益を上げることに對する評価に着目すると，資料の著者は太宰春台と推測できる。
- え 藩が商業活動で利益を上げることに對する評価に着目すると，資料の著者は安藤昌益と推測できる。

- ① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

歴史総合，日本史探究

問 4 カオルさんは調べたことを基に，江戸時代の藩の特徴やその歴史的な変化などをメモ 2～4 にまとめた。メモ 2～4 の正誤について述べた文として最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。

27

メモ 2

多くの藩は有力な家臣に対し，当初は直轄地から徴収した年貢米を支給していたが，のちには実際の領地を与え，そこから年貢を徴収させるようになった。

メモ 3

19 世紀には，財政の再建や藩権力の強化をめざす藩政改革が行われ，これを成功させた藩の中には，幕末の政局に強い発言力をもつものがあつた。

メモ 4

明治新政府は藩を廃止すると，旧藩主たちを府知事や県令に任命し，現地の行政にあたらせた。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① メモ 2 のみ正しい。 | ② メモ 3 のみ正しい。 |
| ③ メモ 4 のみ正しい。 | ④ メモ 2 のみ誤り。 |
| ⑤ メモ 3 のみ誤り。 | ⑥ メモ 4 のみ誤り。 |

問 5 カオルさんは、さらに「近代の代表的な諸都市の中で、江戸時代の藩の城下町に由来するものは、どのくらいあったのだろうか」という点に疑問を持ち、考察することにした。そこで、人口に着目し、日本における人口の上位 10 都市を表にまとめた。表について述べた文として最も適切なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

28

表 1878 年・1889 年・1920 年における人口の上位 10 都市

順位	1878 年	1889 年	1920 年
1	東京	東京	東京
2	大阪	大阪	大阪
3	京都	京都	神戸
4	名古屋	名古屋	京都
5	金沢	神戸	名古屋
6	広島	横浜	横浜
7	和歌山	金沢	長崎
8	横浜	仙台	広島
9	富山	広島	函館
10	仙台	徳島	呉

(関山直太郎『日本人口史』，一橋大学経済研究所附属日本経済統計情報センター編『明治徴発物件表集成』，『国勢調査報告』より作成)

- ① 三都と呼ばれた幕府の直轄都市の数が、次第に減っていくことが読み取れる。
- ② 藩の城下町に由来する都市の数が、次第に増えていくことが読み取れる。
- ③ 幕末の条約により開かれた対外貿易港の都市の数が、次第に増えていくことが読み取れる。
- ④ 日本海側の都市の数が、次第に増えていくことが読み取れる。

歴史総合，日本史探究

第6問 アイさんとマリさんは、20世紀前半を生きた胡桃澤盛くるみざわもりの日記の読解に取り組んでいる。二人の会話を読み、後の問い(問1～5)に答えよ。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。)(配点 15)

ア イ：胡桃澤盛は1905年、長野県下伊那郡河野村の農家に生まれたんだね。

①倒閣を掲げたデモ行進に参加したことを示す記述があるけど、彼は当時18歳。今の私たちと同じ年頃だ。

マ リ：学校教育がすでに浸透した時代・世代だけど、村には青年会という組織も存在し、年長者が年少者を教育する場となっていたようだね。

ア イ：青年会は村政について議論する場でもあったよ。日記には、②普通選挙の初実施を前に、青年訓練所設置について話し合った青年会の様子が分かる記述もある。青年訓練所って何だろう？

マ リ：義務教育を終えた16～20歳の男子が、「善良ナル公民タルノ教養」を身につけるための学科と軍事教練によって、心身ともに「健全ナル国民」となるよう求められたみたい。

ア イ：1923年からの胡桃澤の日記が公刊されているけれど、実に多くの雑誌や本の名前が出てきて驚くよ。③1920年代の分を読み進めただけでも、様々な文化や娯楽が普及していることが分かるね。

マ リ：日記には、④満洲移民に関わる記事も見られるね。村会議員から村長となった胡桃澤は、開拓民を送り出し悲惨な目に遭わせた責任を痛感したようだ。

ア イ：私は、その後の農村が気になるな。特に、⑤日本が復興期から高度経済成長期を迎えて、農業を担う人たちがどのように変わるのかを調べてみるよ。

問1 アイさんは、下線部④のような運動が全国的に繰り広げられていたことを知った。これらの運動の結果に関して述べた文あ～えについて、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

29

- あ 加藤高明が首相となった。
- い 原敬が首相となった。
- う 選挙権の納税資格が3円以上に引き下げられた。
- え 選挙権の納税資格が撤廃された。

- ① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

問 2 資料 1 は，胡桃澤盛の日記に書かれた下線部①の内容である。会話文も参考にしながら，資料 1 に関して述べた文あ・いについて，その正誤の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 30

資料 1

本村(注1)に設置さるべき青年訓練所に付き，委員長(注2)が訓練所規約草案を朗読後，各自意見の発表をなす。設置を喜び入所を可とする者二名。他は一般無産大衆のためその設置を可とせず，村会が既に設置を議決したるもなお入所を停止せんとする者。青年会も面白いぞ。

(『胡桃澤盛日記』1926 年 6 月 25 日)

(注 1) 本村：長野県下伊那郡河野村。

(注 2) 委員長：河野村青年会の委員長。

- あ 青年訓練所入所対象者としては，当時の衆議院議員選挙の選挙権を得る年齢未満の者が想定されていた。
- い 青年会では，村会が議決した青年訓練所設置の決議と異なる意見が出された。

- ① あー正 いー正 ② あー正 いー誤
- ③ あー誤 いー正 ④ あー誤 いー誤

歴史総合，日本史探究

問 3 下線部㉔に関連して述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① ラジオ放送が始まり，日本放送協会が設立された。
- ② 『現代日本文学全集』が，企画・刊行された。
- ③ 弁士が映画を解説する形態のトーキーが，人気を集めた。
- ④ 『中央公論』などの総合雑誌が，多くの読者を得た。

問 4 下線部㉕に関わる政策とその後を知るために，マリさんは**資料 2 ～ 4** を収集した。**資料 2 ～ 4** が発行・発令・作成された時期について，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 32

資料 2

中国残留孤児の「招待訪日」が今年もあった。遼寧，黒竜江両省の在住者六十人が，空路来日した。東京での対面で，数組が肉親であることを確認し合った。

（『読売新聞』）

資料 3

農村における経済的疲弊の原因は，国内外の大不況に加え，農村経済の経営の根本に求められる。（中略）農山漁村における産業と経済の計画的組織的刷新を企図しなくてはならない。政府が今回新たに農林省に経済更生部を設置し，経済更生計画に関する諸般の方策を実施しようとする趣旨もここにある。（中略）地方当局は，中心人物にふさわしい人を得て，堅実適切な計画を樹立実行させ（中略）農山漁村更生の目的の達成に遺憾なきよう，決意せよ。

（『庁府県宛 農林省訓令』）

資料 4



① 資料 2 — 資料 3 — 資料 4

② 資料 2 — 資料 4 — 資料 3

③ 資料 3 — 資料 2 — 資料 4

④ 資料 3 — 資料 4 — 資料 2

⑤ 資料 4 — 資料 2 — 資料 3

⑥ 資料 4 — 資料 3 — 資料 2

歴史総合，日本史探究

問 5 下線部㊸に関連して，アイさんが作成した表を基に話し合う中で二人が立てた問いが，あ・いである。問いあ・いと，それぞれについての考察として最も適当なものW～Zとについて，組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

33

表 年齢階層別の農業就業者数と就業者率

(単位：千人・％)

	1950 年		1955 年		1960 年		1965 年	
	就業者数	就業者率	就業者数	就業者率	就業者数	就業者率	就業者数	就業者率
15～19 歳	—	—	1,298	30.0	691	14.9	291	7.2
20～24 歳	—	—	1,848	29.0	1,152	17.9	533	7.7
25～29 歳	—	—	1,807	32.8	1,447	24.2	858	14.4
30 歳～	—	—	9,938	43.1	9,831	36.9	9,184	29.9
総数	16,102	45.2	14,890	37.9	13,121	30.0	10,867	22.8

(『国勢調査報告』より作成)

(注) 1950 年の就業者数には，14 歳を含む。

(注) 就業者数の 1,000 人以下を四捨五入しているため，各年の就業者数の総数は，各年齢階層の就業者数の合計と必ずしも一致しない。

(注) 就業者率は，農業就業者数÷全産業就業者総数。

問 い

あ 表の時期に見られる農業就業者の総数が変化した背景には何があったのか。

い 表の1955年から1965年にかけて，15～19歳の農業就業者率が大きく変化したのはなぜか。

考 察

W 米の生産調整を目的とした減反政策が，農家で必要とされる労働力に影響を与えた背景の一つだと考えられる。

X 経営規模を拡大し農業の近代化を目指す法律の制定や，農業の機械化が，農家で必要とされる労働力に影響を与えた背景の一つだと考えられる。

Y 鉄鋼などの重要産業に資金や資材を集中投下する政策により，大都市の工場での労働に，農村の青少年が多く従事したと考えられる。

Z 労働力不足を補うため行われた集団就職により，大都市の商工業に農村の青少年が多く従事したと考えられる。

① あ－W い－Y

② あ－W い－Z

③ あ－X い－Y

④ あ－X い－Z